

休日部活動の地域展開実証事業 保護者説明会



令和7年9月
狭山市教育委員会

地域展開の必要性

【現状と課題】

これまでの部活動は、学校教育の一環ではあるものの授業や行事等の教育課程とは別の活動として、教職員の奉仕的・献身的な活動により支えられてきた

進展する少子化

○本市の公立小中学校の児童生徒数はピークであった昭和60年の半数以下となっており、今後も少子化の進展に伴い部員数の減少が見込まれる。

学校の働き方改革

○競技経験・指導経験のない教職員としての負担増
部活動指導が長時間勤務の一因となっている。

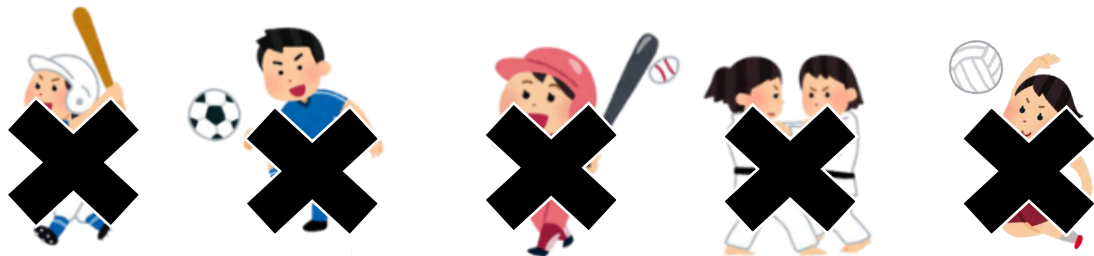
多様化するニーズ

○これまでの部活動にない新たな種目・活動を希望している（R6アンケート調査）

「チームが組めない」「やりたい種目がない」

一部の学校や地域ではすでに現実!!

このまま何もしなければ、いずれ
部活動は成り立たなくなってしまう



将来にわたり子供たちがスポーツ・文化芸術活動に親しめる機会を確保するために

●学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、生徒の継続的な活動環境を整備する

部活動の地域展開により見込まれる効果

◎生徒のニーズに応じた充実した活動の実施

- ・新たな活動及び複数の活動へのチャレンジ機会の創出
- ・自分が本当にやりたいことへのチャレンジ機会の獲得
- ・他の中学校に在籍する生徒等との交流による豊かな人間関係の構築
- ・専門の指導者から受けられる効果的な指導機会の獲得



◎生涯学習の推進

- ・持続可能な活動環境の整備
- ・多世代のつながり
- ・活動への参画人数の増加
- ・地域コミュニティの強化・拡大
- ・生涯にわたる健康保持増進

◎教職員の働き方改革の推進

- ・中学校教職員の時間外在校等時間の減少
- ・学力向上等につながる教員の指導力の向上
- ・授業等教育活動の充実



【参考】休日部活動の地域展開実証事業 生徒のうごき

START

実証事業の活動に参加
しますか？

YES



・これまで行ってき
た部活動と同じ種
目に参加したい
(平日の活動種目
と異なる種目も可)



・実証事業に登録し
参加してください。
※参加費等はかかりません

NO



・休日は自分の好
きなことをしたい
・家族と過ごしたい
など
※参加は強制では
ありません



※実証事業で行う
地域クラブの
活動種目

- ・陸上競技
- ・野球
- ・バレーボール
- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・ソフトボール
- ・ソフトテニス
- ・卓球
- ・剣道
- ・柔道
- ・バドミントン

参加費：なし

活動イメージ（令和7年度実証事業）

西中

陸上 男12 女17	野球 男13 女2	バレー 男0 女11	サッカー 男22 女1	バスケ 男28 女17	ソフト ボール 女17
テニス 男28 女23	卓球 男21 女0	剣道 男7 女6	柔道 男5 女2	バド なし	

柏原中

陸上 なし	野球 男10 女1	バレー 男0 女13	サッカー なし	バスケ 男12 女11	ソフト ボール なし
テニス 男20 女24	卓球 男10 女0	剣道 男0 女1	柔道 なし	バド なし	

実証事業

西中・柏原中エリアの地域クラブ（1・2年生 計334人）

陸上（西）
男12
女17

野球（西）
男23
女3

バレー（西）
男0
女24

サッカー（西）
男22
女1

バスケ（柏原）
男40
バスケ（柏原）
女28

ソフト（西）
ボール
女17

テニス（西）
男48

卓球（西）
男31
女0

剣道（西）
男7
女7

柔道（西）
男5
女2

バド（西）
男女

テニス（柏原）
女47

西中・柏原中の生徒にとって
新たな活動を行う機会が
生まれ、選択肢が拡大

※現在、各部活動に加入している
生徒が同じ種目を選択した場合